令和元年度

事　業　報　告　書

自：平成３１年４月　１日
至：令和　２年３月３１日

公益財団法人　琵琶湖・淀川水質保全機構

概　　況

令和元年度は、健全で安定した経営基盤の維持、公益実現への貢献ならびに社会からの期待に相応しい事業運営を目指すことを使命に、積極的に事業活動を展開した。

管理運営活動では、所要の会議を開催することにより、関係者との協議・合意形成を図った。また、事業活動では、琵琶湖・淀川水系の健全な水環境の実現のための調査研究、広報啓発、活動支援事業を行うとともに、成果報告会や各種広報媒体を通して、引き続き「飲める水　遊べる水辺　次世代に」をキャッチフレーズとして掲げ、「遊んだり、泳いだりするのに適した河川や湖にする」という目標を実現するために、琵琶湖・淀川水系が抱える水環境課題の解決に向けた取組みを実施した。

Ⅰ．管理運営活動等

１．　評議員会、理事会、評議員会・理事会幹事会等

評議員会、理事会、評議員会・理事会合同幹事会、評議員会・理事会担当者会議を開催し、事業運営全般について検討・審議を行った。

（１）評議員会

第１回評議員会

・日　時　：令和元年６月１９日　午前10時～10時38分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　中会議室２
・議　案　：・評議員の補欠選任
　　　　　　・理事、監事の選任
　　　　　　・平成30年度事業報告及び決算の承認
・報告事項：常務理事（事務局長）にかかる公募実施

第２回評議員会

・日　時　：令和２年２月27日　午前10時～11時15分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室３
・議　案　：・理事の補欠選任
　　　　　　・平成31年度収支予算書（補正）の承認
　　　　　　・令和２年度事業計画書の承認
　　　　　　・令和２年度収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認
　　　　　　・公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構の今後のあり方にかかる見直しの承認

（２）理事会

第１回理事会（決議の省略）

定款第36条に基づく決議の省略により、下記の事項につき令和元年６月４日に理事会の決議があったものとみなされた。

・令和元年度第１回評議員会の招集
・顧問の選任に関する同意
・平成30年度事業報告及び決算書類の承認
・常務理事（事務局長）にかかる公募実施の承認

第２回理事会
・日　時　：令和元年６月 20 日　午後３時～４時 10 分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室２
・議　案　：理事長、常務理事の選定
・報告事項：理事長・常務理事の職務の執行の状況

第３回理事会（決議の省略）

定款第 36 条に基づく決議の省略により、下記の事項につき令和元年８月６日に理事会の決議があったものとみなされた。
・顧問の選任に関する同意

第４回理事会
・日　時　：令和２年２月７日　午前 10 時～11 時 25 分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室１
・議　案　：・平成 31 年度収支予算書（補正）の承認
　・令和２年度事業計画書の承認
　・令和２年度収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認
　・公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構の今後のあり方にかかる見直しの承認
　・令和元年度第２回評議員会の招集
・報告事項：・理事長・常務理事の職務の執行の状況
　・理事長専決報告（職員給与規程の一部改正）

（３）評議員会幹事会・理事会幹事会

第１回評議員幹事会・理事会幹事会合同会議
・日　時　：令和元年５月 30 日　午前 10 時～11 時
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室２
・議　題　：・第１回理事会（決議の省略）の案件
　・第１回評議員会の案件
　・第２回理事会の案件

第２回評議員幹事会・理事会幹事会合同会議
・日　時　：令和元年 11 月 12 日　午前 10 時～11 時
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室３
・議　題　：琵琶湖・淀川水質保全機構（ＢＹＱ）の今後のあり方

第３回評議員幹事会・理事会幹事会合同会議
・日　時　：令和２年１月 31 日　午前 10 時～11 時 30 分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　大会議室１
・議　題　：・第４回理事会の案件
　・第２回評議員会の案件

（４）評議員会・理事会担当者会議

・日　時　：令和元年９月 11 日　午前 10 時～11 時 40 分
・場　所　：大阪府立男女共同参画・青少年センター　中会議室１
・議　題　：琵琶湖・淀川水質保全機構（ＢＹＱ）の今後のあり方

２．　公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構の今後のあり方の見直し

関係者との協議・合意形成を図りながら、令和２年度から令和４年度までの次期３ヵ年の事業計画及び運営計画を定めるとともに「公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構の今後のあり方」の見直しを行った。

３．　常務理事の選定

令和２年度からの就任を予定し、常務理事（事務局長を兼務）候補者について、公募選考を実施した。結果、候補者１名が評議員会、理事会の決議を経て常務理事に就任した。

Ⅱ．事業活動等

令和元年度は、引き続き琵琶湖･淀川流域における水環境問題を流域全体で解決するための一翼を担い、「飲める水　遊べる水辺　次世代に」をキャッチフレーズに、調査研究事業、広報啓発事業および活動支援事業を実施した。

１．　水質保全調査研究事業

（１）水質保全調査研究開発事業(自主事業)

<u>生活環境保全対策・健康リスク問題に関わる調査検討</u>

流域全体が取り組むべき課題、自治体を超えて解決することが効率的、有効な課題を対象に、行政が適切な施策を講じるために有用となる調査研究に取り組み、流域全体の水環境保全の向上、また、流域連携の推進に寄与することを目的としている。

さらに、流域の水質・水環境情報や成果を当機構のWEB上に公開するとともに、調査研究成果等は関係府県・機関の施策等に活用してもらえるよう評議員会、理事会、幹事会の他、研究助成成果報告会等の機会を利用し、研究成果の情報・知見の提供に努めている。

① 流域の水質保全のための流入汚濁負荷調査研究

琵琶湖・淀川流域の水質保全のために、水質改善が進まない地域の汚濁負荷量や発生源の影響等について検討を行っている。

木津川上流域では、木津川上流のダム群の富栄養化によるアオコ発生や浄水場でのトリハロメタン生成能の問題などの水質課題を抱えている。令和元年度は引き続き流入する支川河川も含めた流域の水質特性、とくに有機物を対象とした汚濁状況の把握を関係機関の協力を得て調査を実施した。

② 気候変動による水質変化に関する調査研究

GISデータや気候予測データを活用し、流域情報の可視化や水文水質統合モデルの適用を通じて、今後の気候変動に伴う水資源の変化や水需給バランスへの影響評価など、水質保全への戦略的な管理が必要とされている。令和元年度は、琵琶湖流域の一河川の集水域を対象に、非特定汚染源からの汚濁負荷発生に与える波及的影響について水量および浮遊物質量の視点から解析した。

（２）調査研究の成果の発表及び社会活動等

① 論文発表（査読あり）

・K. Wada, *et al.* “Motor Vehicle Wash-off Water as a Source of Phosphorus in Roadway Runoff” *Journal of Water & Environment Technology*, **18**(1) 9-16, 2020.

② 国内・国際学会・シンポジウム発表

・第４１回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム（2019年7月、京都）
西村，和田，野口ら「木津川上流域における河川水中有機物特性に関する研究」

・Water & Environment Technology Conference (2019年7月、大阪)
K. Wada, *et al.* “Motor Vehicle Wash-off Water as a Source of Phosphorus in Roadway Runoff”

・IWA 19th Int. Conf. on Diffuse Pollution & Eutrophication (2019年10月、韓国)
K. Wada, M. Nakamura, H. Tsuno, *et al.* “Analysis of the change in magnitude and spatial distribution of the land-based sources of nonpoint pollution loads making use of the GIS”

・京都大学国際シンポジウム 招待発表（2019年11月、京都）
K. Wada, M. Nakamura, *et al.* “Water Environment Management utilizing Monitoring Data and GIS Data – the change in the Lake Biwa-Yodo River basin”

・第５４回日本水環境学会年会（２０２０年3月、岩手）
和田・津野 「琵琶湖淀川流域の非特定源汚濁負荷対策における新たな視点」

③ 講演、社会活動等

【招待講演】

・2019年水環境保全シンポジウム 講演及び湖沼水質保全に関する対策と管理の討議（2019年10月、台湾）台湾環境保護署，台北副市長，桃園市政府環境保護局，国立台北科技大学 等）
「琵琶湖淀川水系：水質汚濁源の負荷削減と水質保全」」

【社会活動等】

・砺波市庄川水質協議会の視察研修（2019年8月，10名）
「（公財）琵琶湖・淀川水質保全機構の取組み」

・国際協力機構（国際湖沼委員会ILEC, JICA）水資源の持続的な利用と保全のための統合的湖沼・河川・沿岸流域管理研修講義（2019年9月，10名滋賀/大阪）
「琵琶湖･淀川流域における水利用、水質浄化技術の紹介」
「大阪における下水道の概要と河川･大阪湾における水質保全について」

④ 出展等

・第24回水シンポジウム2019inしが（8月22日「ピアザ淡海（大津市）」）
・マザーレイクフォーラムびわコミ会議（８月31日「コラボしが21（大津市）」）
・びわ湖環境ビジネスメッセ（10月16日～18日「長浜バイオ大学ドーム（長浜市）」）

（３）琵琶湖・淀川水質浄化研究所報告の公表

平成３１年～令和元年の調査研究成果や活動実績についてとりまとめ、BYQ水環境レポートに掲載した。

（４）学術委員会の開催

琵琶湖・淀川水系の水質保全のために実施している調査研究事業の内容を報告し、学術委員から幅広く指導や助言を得た。

・日時、場所：令和元年12月25日、キャンパスプラザ京都 ２階第3会議室

・審議報告事項

水質保全研究助成について

水質保全調査研究について

２． 水質保全広報・啓発事業

（１）ＢＹＱ水環境レポートによる水環境情報の広報

琵琶湖・淀川流域における水利用や水質の状況、変遷等の情報を一元的に取りまとめた年次報告書「BYQ 水環境レポート」を、継続して発行・公表している。令和元年度は、平成30年度版を作成し、関係機関に印刷冊子を配布するとともに、幅広く一般広報する目的から、流域内の公立図書館等に寄贈し、機構のWebページにも「琵琶湖・淀川流域の水環境の現状」として掲載した。

（２）ＷＡＱＵ^{2}調査隊による水環境保全の啓発

身近にある湖沼や川の状況を、流域に住む住民自らが主体的に出向いて調べることにより、その水質に興味を持ち、水に親しみを感じ、さらに水環境について考えてもらうことを目的に実施している。年１回、隊員が河川の水質（化学的酸素要求量、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、りん酸態りん）を調査し、年度末に調査報告を取りまとめた。また、「身近な水環境の全国一斉調査（全国水環境マップ実行委員会主催、国土交通省・環境省後援）」にも参画した。

・令和元年度：隊員数192人、調査地点236カ所

・調査日　　：令和元年６月２日

（３）ＢＹスタンプラリーによる水環境保全の啓発

市民団体が主催する水質保全活動への参加や水関連施設の見学を通して、流域住民が水環境への関心を高めていくことを目的に実施している。市民団体が主催するイベントや水環境関連施設の紹介マップを掲載した「かわら版」を年３回発行し、Web上に公開するとともに、市民団体や水環境関連施設等に配布した。

・令和元年度：協賛施設21施設、協賛団体 NPO・市民団体等50団体

・参加者数　：50人

（４）水情報冊子「散策ブック」による琵琶湖・淀川流域の広報・啓発

琵琶湖・淀川流域内の河川に関する幅広い情報を紹介・広報し、流域住民の水環境への関心を高めていくことを目的に冊子を配布した。

３．水質保全活動支援事業

地球温暖化や微量有害物質の問題等、琵琶湖・淀川流域が抱える水質保全の課題解決に資することを目的に水質保全研究助成を実施した。また、次世代の水質保全活動の担い手の育成を進めるため、琵琶湖・淀川流域の小・中・高・特別支援学校、NPO法人、市民団体等が行う水質保全活動に対して活動助成を行った。

（１）水質保全研究助成

令和元年度は、応募数７件のうち３件を水質保全研究助成選考委員会にて採択した。助成した研究内容について幅広く情報共有するために、例年３月に実施している報告会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっている。

【令和元年度募集分野】

① 新たな富栄養化の課題・視点や異臭味の発生に関する調査研究
閉鎖性水域（湖沼やダム湖他）の水質課題の解決策に資する研究を対象
例えば、富栄養化に関する新たな現象、課題、研究の切り口・研究方策、水域生態系での物質循環、適正な富栄養化レベルなど

② 安全で安心な水のための健康リスクに関する調査研究
水系病原性微生物、微量有害化学物質等の水環境中での挙動把握、人や水生生物への影響評価、削減・制御技術や施策等に関する研究を対象

③ 流域水環境管理のための水質指標に関する調査研究
水質汚濁・汚染に関係する指標、気候変動が及ぼす水温・水質影響に関係する指標などの開発や評価手法・施策に関する調査研究を対象

【令和元年度採択助成研究】

・湖沼における細菌由来溶存有機物の寄与：鏡像異性体バイオマーカーを用いた定量法の確立
・臨床領域で対策が求められている薬剤耐性菌の河川環境中における動態
・消毒副生成物前駆体としての琵琶湖・淀川水系における超親水性溶存有機物の存在実態

【令和元年度成果報告会】

令和２年３月２５日、大阪府立男女共同参画・青少年センターで開催予定だった成果報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっている。

（２）琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成

令和元年度は、応募数10件のうち9件をこども水質保全活動助成選考委員会にて採択した。また、平成30年度に助成した活動について８月に報告会を開催し、助成成果についての知見共有と交流を図った。

【こども水質保全活動助成の視点・内容】

① 琵琶湖・淀川流域をフィールドとした体験的な学習活動が含まれること
② 上流・下流のつながりなど広域的な視点があること
③ 今後の水質保全活動の参考となるような創意工夫があること

【令和元年度採択助成活動】

- 体験から学ぶ環境学習（琵琶湖や川の恵みを感じよう！）
- 吾妻川のひみつを探ろう
- 草津川水辺の探求事業
- 地域と創る杣川水族館seasonⅢ
- 琵琶湖・淀川こども水質保全活動助成
- 水辺の歴史を探る　わが故郷の水事情
- 一筋の渓流でのサンショウウオの住み分けの調査
- 琵琶湖自然体験　自然との触れ合い　水質調査
- 水辺で楽しもう

【平成30年度成果報告会】

- 日時、場所 :令和元年８月2日　午後1時30分～午後3時45分
  大阪府立男女共同参画・青少年センター　5階視聴覚スタジオ
- 参加者 ：62名（行政・事業体関係者、教職員・学生、NPO関係者）
- 内容
  活動成果発表：助成対象6団体
  全体意見交換